

2014年中部ブロック会議 議事録

日 時：2014年7月19日 午後1時より

場 所：ウェスティン ナゴヤ キャッスル 銀の間

出席者：大阪クラブ6名 奈良クラブ5名 京都福知山クラブ1名 岐阜クラブ11名

静岡クラブ4名 三重クラブ5名 愛知クラブ22名

FFI 金元勅子氏

FR 森本吉彦氏

主 催：愛知クラブ

プログラム

1. 開会挨拶：土居陽子愛知クラブ会長
2. 議長挨拶：富岡達也氏
3. FFI 挨拶：金元勅子氏
4. FR 挨拶：森本吉彦氏
5. 各クラブ会長挨拶と参加者紹介

各クラブ会長より挨拶と、参加会員の紹介

- ① 静岡：鈴木氏 他3名；初めての会長職の報告
- ② 岐阜：藤井氏 他10名；来年の日本大会と中部ブロック会議への参加協力依頼
- ③ 三重：中谷氏 他4名；任期途中での事務局が変わったことを報告
- ④ 奈良：大西氏 他4名；渡航、受入の充実を図り60歳前後の会員募集活動を報告
- ⑤ 京都福知山：山田氏1名；会長復帰を報告
- ⑥ 大阪：朝倉氏 他5名；2度目の会長になったことを報告
- ⑦ 愛知：土居氏 他22名；全会員で頑張っていくと報告

<ブロック会議議題>

議長：日本大会の後になったが、日本大会での討議の内容を踏まえてブロック会議で今後の運営に反映させたい

本日の流れの説明

鷹野：アンケート協力へのお礼・アンケート(別紙)のまとめの説明と結果報告

第1部 アンケートの結果について(鷹野)

クラブ運営に関する議題

① 会員数・会員歴

どのクラブも3～8年の会員が一番多い、21年を超える会員も元気に頑張っている

② 会費

大阪クラブからの問題提起については札幌クラブから送付された日本大会の議事録を参照する

③ パブリシティー

議長：アンケート結果が見られた静岡・大阪クラブの成功例について紹介願いたい

静岡：渡航後の交流会に静岡新聞の記者を招き新聞に載せてもらい、11 名の見学者が有り、11 名の問い合わせがあり、その中の 3 名が入会した

大阪：毎年行われる総合フェスタにて FF の展示会をすることで会員獲得に繋げている

④ 昨年度の渡航紹介・良かった点・問題点

質問：岐阜：渡航・受け入れの交換中の昼食代金はどのようにしているか？

岐阜クラブではカナダ・アメリカの渡航時に食事代を何度も払わされた経験により、ドイツ・ベルリンの受け入れ時には多く貰った

回答：静岡：渡航；国によって違うが殆ど払っていない

回答：三重：渡航；国によって違う・受け入れ；ほとんど三重クラブが支払っている

回答：奈良：基本的にグループ時は会より負担・個人の時は余り支払っていない。

回答：京都福知山：受け入れ；京都旅行を希望されることが多いので、事前に報告し了承の上 1 万円を受け取りその中で賄う・それ以外はあまり払ってもらっていない

回答：大阪：渡航；払ったことはない・受け入れ；弁当を個人で購入してもらったり、集合前に昼食を済ませてもらうなど工夫している。

回答：愛知：渡航；受け入れの場合、オプションツアーは事前に話し合い、昼食代金を含めたアディショナルフィーをもらう、その他はホスティングフィーのみ、渡航の場合は渡航先 ED との事前協議により 臨機応変に対応している

④ 受入に関する問題・プログラム運用費用・ホストの費用負担・その他

奈良：

- ・アンケートへの補足説明；役員任期は基本 2 年
- ・会員の負担を減らすためにステイ先を 2 カ所に分けることがあるが、事前に了解をとりアンバサダーが困る事はしない
- ・会員一人一人が主役になる活動が大事、役員中心の活動から会員による同好会形式にした事でコミュニケーションが良くなった・ハイキング・手作り・ダンス

京都福知山：

- ・会員減少が問題

- ・滞在を 2 カ所のホストに分けるとアンバサダーからの評判が悪い

大阪：

- ・忘年会、新年会以外に渡航後の懇親会に会員を誘う
- ・アンケートへのお礼；結果を知る事で改めて会員の年数構成が判って良かった。
- ・ホストについては 1 家庭で行う。デイホストなどでホストを助けたがって 1 週間の滞在中アンバサダーの移動はない

愛知：

- ・クラブ内活動を 2 年前より約毎月活動をしている、出席率は上がったが会員獲得には繋がっていない
- ・受け入れ箇所を 2 カ所にすることは受け入れられない、FF の精神を守って原則 1 週間 1 家庭でのおもてなしを大切にしている・今後はわからない

質問：議長：交換時のアディショナルフィーに対する考え方は？

回答：大阪：100ドル以外は貰わない・交換行事の際は現地までの費用はアンバサダーが負担

回答：奈良：FFIが決めたやり方に従っている100ドル以内でカバーしている・それ以外は公の行事は会で、プライベートはホスト負担

回答：静岡：空港からホスト宅間はアンバサダーが負担・他は100ドル以内で賄う

回答：岐阜：殆どが自家用車の為ホスト負担・観光希望が多く、京都・高山は7千円程貰う

回答：三重：集合場所まではアンバサダーが負担・バス代は参加者で割る

回答：京都福知山：関空までは会員が運転するマイクロバスで送迎する・観光はアディショナルフィーを貰う。

回答：愛知：殆どが自家用車の為ホスト負担・観光はアディショナルフィーで賄う

会員の住んでいる範囲が広い為、ホスト、アンバサダー、の負担にばらつきがある為、改善に努めているが、中々難しい

⑥ ホームページの運営

金元：各クラブで作成・UPを外部の業者に依頼することとなった

質問：大阪：今まで佐々木さんが行っていた役割（UPした事を全てのクラブに報告すること）はどうなりますか？

金元：私のほうで各クラブにUPしたことをお知らせします

中部ブロック内での問題

① フィールドレップの選出方法

森本：来年2015年で任期終了、2015年3月末までに7つのクラブ会長が次期FRを推薦して、その中から決めてほしい・決められないときは現FRの森本より推薦したい

質問：鷹野：再任は有るか？

森本：「無し」を求めるという事で願いたい

第1部 終了

第2部 FFI スタッフ金元勅子氏との質疑応答

FFIの新方針について 金元勅子氏

各クラブに送信済みの Global Survey の調査票を参考に今後の方針をたて、来年度の世界大会に発表される予定。その中で「次世代をどのように取り込んでいくか」について Joy 会長はソーシャルメディアを使って取り込んでいくことを考えておられるようだがまだ具体的なことは発表されていない

次世代若手のリーダーの会議、新しい委員会を立ち上げました。世界各国から若いリーダーの代表が集まりそこにアドバイザーとしてクラブのリーダーが参加

前フィールドレップコーディネーターの石井さんがそちらの方の仕事に参加されています

日本大会での Joy 会長との質疑応答概要 金元勅子氏

- ・マッチングを提出した時と実際のアンバサダー数が実際と大幅に違う。

FFI としては application をより厳しく指導していく

この3年間で171の交換がcancelされた。その為申し込みの際の deposit を考えている。

希望するクラブとの交換ができない場合は global exchange で希望の場所を見つけて欲しい

- ・合同渡航について

高齢化による参加者の減少が原因である。

世界的には多くの人が合同渡航に参加しているが日本ではあまり好まれていないようだ

しかしキャンセルが多い現実を踏まえ合同渡航も考えてほしい

- ・クラブ Fee について

1年間どのくらいの人が払ったかのレポートを各クラブに送っているのでご覧ください。

未払いのクラブにはメールあるいは地域のコーディネーターがコンタクトをとっているがクラブ側にも事情があつてなかなか難しい。(高齢化で渡航はまったくできないが受け入れはできる。

とてもしっかりやっている等) 今後も支払ってくださるよう努力します

- ・交換のアンバサダーの受け入れ人数 20~25名は負担が大きい

これはあくまで目標であるので少なくとも仕方がないと思っているが努力はして欲しい。

相手クラブとの話し合いでお互いが了承すれば構わない

ブロック会議参加者と FFI スタッフ金元勅子氏との質疑応答

福知山： (少人数の渡航につて) 過去 カナダ、ニュージーランド、ドイツに行った。いずれも14名くらいで行ったが何も問題はなかった。相手クラブに少人数での渡航を了承され、大歓迎をされた

金元： 相手クラブと良いコミュニケーションをとり、交渉して少人数での良い交換が出来ればよいと思う

静岡： この3年間、最初から合同渡航を提示され、リーダークラブになれない。日程など相手クラブのリードで決まるので不満である。渡航人数が少ないのが原因か？

福知山クラブが単独渡航なのになぜか？

金元： FFI にはしつこく言っている。決定権はプランニングのセクションが持っているので何とも
言えないが、相手クラブが静岡を指名して合同になることもある

FR： 各クラブはそれぞれ独立した組織なので最初からどこかと合同でしなさいというのは失礼
な話だ

あくまで suggestion と考え、拒否して下さい

奈良： この問題は何度も出ているが埒があかない。総論と各論がかみ合っていないからだ。総論
では Joy 会長が少人数で構わないと言っておられるのだが現実問題では認められていない
ことがある。これは各論だ。金元さんよろしくお祈いします。テーマのある交換、global
exchange についても日本のクラブは **クラブ対クラブの交換** がしたいのでそれを認め
てほしい。金元さんからお口添えをお願いしたい。奈良クラブでも同じような経験があっ
た。16名の予定が7名になり、相手渡航クラブは2名の参加のみ。メインの交換であった
ので失望感はぬぐえなかった

大阪： 二つのクラブの名前が書かれていたが実際には合同渡航だった

愛知： 最近の二つの渡航、オランダ 12名、サンタバーバラは7名で少人数だったがその後も静岡
のような問題は起きていない

金元： FFI の担当者が二人だけで全世界のマッチングをしているので細かいところまで目が届か
ないのではないかと思う。しつこく根気強く主張してください

静岡： 何度も言っているがだめでした

山形と静岡との合同渡航では山形がリーディングクラブ。山形より静岡の参加人数がおお
かったにもかかわらず静岡がリーディングクラブではなかった

三重： 会員の所属を県単位でなくフレキシブルにしてほしい

そうすれば動きやすく、協力しやすくなるのではないか

議長： 愛知は新潟、岐阜、三重、以前は長野在住者もいて所属に関してはすでにかなり自由になっ
ている。ただ受け入れの際に、遠距離だと交通費の面など困ることもあるので今後の検討課
題となっている。

議長からの問題提起

オンラインカタログでの参加者についてどう考えるか

愛知： 10月にホノルル受け入れがあるが渡航参加者のうち7名がオンラインカタログでリクルートした参加者（ニュージーランド、アメリカ、カナダ）ホノルルは10年前に渡航したクラブで相手のEDもよく知っている。基本的にホノルルと愛知の交換であるが、オンラインカタログ参加者による問題が発生した場合の責任はどうか

FFIはその場合どのようにかかわるのか

金元： ホームページにコーディネーターの連絡先が乗っているので見知らぬ人からコンタクトがよくある。結果はFFとは全く関係のないのがほとんど。インターネットの怖さを感じている。質問の問題が発生した場合の対応であるがバラバラの参加者が日本に入ってから出国するまでに起きた問題の対応はEDが対応すると思うが FFI本部ではまだその問題に対して具体的には考えられていないのが現状である

FR： 個人的見解であるが、FFIはかなり変わってきた。オンラインカタログの参加者は観光目的が多い。しかもFFのメンバーでない人までいて不幸にして事故や病気になった時EDが対処できるか？FFIのコンセプトから大きく逸脱しない限りは対応していきますが、基本は **クラブ対クラブ**であると思っている

議長： 少なくとも受け入れが決まった時点ではFFのメンバーとなっているべきと思うがどうだろうか？ 問題が発生した場合、受入EDは対応できない

岐阜： 昔は会長の推薦、許可がなければ他クラブへの参加はできなかった

岐阜： 交換中にアンバサダーを車に乗せていて事故を起こした辛い経験をした。FFIからは自分を責めることはないと言われたが今後交換が複雑化した場合の事故の対応が心配だ

奈良： EDは添乗員ではない。責任は個人にあるのでだれにも責任を求めることはできない

どんな旅行でも事故はある。渡航参加者は保険に加入するのはマストである

今まで合同渡航を受け入れたが、特に問題はなかった。これから渡航参加者の減少を考えると合同渡航を受け入れていかなければならないと思う。しかし参加者がクラブ員でない場合は不安だ。FFの会員は世界中に友人がいると思うのでそのネットワークを通じて参加したらよい。オンラインカタログでの募集がすべてダメであるとは言えないが、あくまでクラブどうしの交換が基本である

金元： オンラインでの募集の場合、FFIのポリシーには クラブ員でなければならないという事は明記されていない。けれども受け入れる場合は必ず会員でなければならないという日本のクラブの希望はFFIに伝えます

愛知： （オンラインカタログに関して）

オンラインカタログの良い面、悪い面と言われたが、具体的に言ってください

金元： 良い面；個人的に日本へ行きたいがクラブにその計画がない場合個人的に行けるチャンスが与えられる。インターネットを通して参加することで多くの人に日本を知ってもらう。

悪い面：まったくFFに関係のない人が参加し、その人を自宅に泊めなければならない不安がホストに発生する

インターネットは不特定多数が対象なので慎重にしなければならないと思う

愛知： オンラインカタログではないが過去に交換でトラブルがあった。フレンドシップフォースは本当に信頼のおける人だけを受け入れるのであって誰でも受け入れることはできない

愛知： フレンドシップフォースの基本的精神が失われているような気がする。新入会員、特にオンラインカタログ参加者にアンバサダーの心構え、奉仕の精神を強く訴えてほしい

岐阜： 昔と今とでアンバサダーが少し違ってきているような気がする。昔ホストした人とは30年も続いている。インターネットの時代になって関係が希薄になった気がする

岐阜： 交換でドイツが続いた

金元： きめ細かくマッチングをするよう伝えます

議長： 昔はクラブの公式行事が少なく、ホストと一緒に時間がたくさんあったのでホストとアンバサダーのつながりは今より強かった

近隣諸国との交流について

愛知クラブが最近の台湾の新竹クラブとの交換について事務局が報告

FR： 昨年、大西さんからアジア諸国との交流をしたいとの提案があった

アジア諸国との交流は大切である。合同で渡航するのは良いと思う

金元さんからスリランカから日本の受入れをしたいとの打診があったがすでに通常の交換があるので難しいとのことでそのままになっているが、合同で行くのもよい

金元： 日本全体では東京クラブ、静岡クラブ等アジア渡航を希望しているクラブは多い

以上

次期ブロック会議

担当クラブ：岐阜

9月26日 ブロック会議

27日 日本大会

28日 オプショナルツアー 宿泊:ホテルグランパール岐山

終了：午後4時